

茨城県 男女共同参画に関する県民の意識と実態に関する調査について

1 調査の目的

女性が活躍できる社会及び男女共同参画社会の実現に向けて、県民の意識と実態等を調査集計・分析し、その結果を広く公表することにより、県民全体の女性活躍・男女共同参画への理解と意識の醸成を図るとともに、課題を把握し、各種施策を効果的に推進するための基礎資料とすることを目的とする。(調査は5年に1回、前回は令和元年度に実施)

2 調査実施概要

調査対象	県内在住の18歳以上男女4,000名(男性2,000名、女性2,000名)
抽出方法	全市町村に人口規模別・男女別に対象者数を配分し、無作為抽出
調査方法	郵送配付・ネット回答と郵送回収の併用(督促1回)
調査項目	1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について 2 就業について 3 地域活動について 4 男女共同参画社会について 5 回答者の属性
設問数	25問
調査期間	令和6年8月20日(火)～9月20日(金)

<参考：過去の回答実績>

	令和元年度	平成26年度	平成21年度
設問数	42問	36問	32問
有効回答数	1,383件	1,111件	1,614件
有効回収率	34.6%	27.8%	40.4%
20～50代	733件	574件	1,036件
60代以上	650件	507件	539件
督促	あり	なし	あり
ネット回答	なし	なし	なし

※性別、年齢等が無回答のものがあったため、年代の合計と総回答数が合わない場合がある。

＜茨城県男女共同参画に関する県民の意識と実態に関する調査 調査項目＞

R6調査項目		R4男女共同参画 世論調査（内閣府）	指標項目 目標・参考等
1	あなたご自身について		
F1	性別	●	
F2	年齢（2024年4月1日現在）	●	
F3	結婚・未婚	●	
F4	子どもの有無、末子の状況	●	
F5	家族の中に介護を必要とする人がいるか		
F6	現在の家族構成		
F7	住んでいる市町村		
2	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について		
問1	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の「理想」と「現実」について		
問2	「男性は仕事、女性は家庭」という考えについて	●	● 参考
問3	一般的に、女性が職業をもつことについて	●	
問4	一般的に、女性が職業をもつことについて 考えの理由		
問5	男性が家事・育児を行うことについてのイメージ		
問6	夫婦の家事分担割合について、「理想」と「現実」について		
問7	男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なこと	●	
3	就業について①		
問8	職場において、一般的には男性と女性のどちらが優遇されていると思うか		
問9	仕事を辞めた経験の有無		
問9-1	仕事を辞めた際の主な理由（該当者のみ）		
問10	女性が出産後も働き続けるために重要だと思うこと		
4	就業について②		
問11	あなたの職業について	●	
問11-1	【問11で職業を「被雇用者」と答えた方】お勤め先の従業員規模		
問11-2	【問11で職業を「被雇用者」と答えた方】就労形態について（正社員等かパート等か）		
問11-2-1	問11-2で、「パート・アルバイト、契約・派遣職員等」と答えた方 その就労形態についての理由		
問11-3	【問11で職業を「被雇用者」と答えた方】あなたの役職		
問11-3-1	問11-3で「非管理職」と答えた方 これから先、どの役職まで目指したいか		
問11-3-2	問11-3-1「非管理職のまままでよい」と答えた方 管理職・役員を目指さない理由		
問11-3-3	問11-3で、「役員・管理職」と答えた方 あなた自身が、管理職になって良かったと感じること		
問12	あなたの配偶者の職業について（配偶者がいる方のみ）	●	
問13	どのような制度や支援があれば、女性の管理職が増えると思うか		
5	地域活動について		
問14	町内会やボランティア、NPOなどの地域活動について「現在参加している活動」と「今後参加してみたい活動」は何か。 「現在参加している活動」でリーダーとして活動しているものは何か。		
問15	女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思うか		
6	男女共同参画社会について		
問16	男女の地位は平等になっていると思うか	●	● 参考
問17	男女共同参画社会を実現するために、県や市町村は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思うか	●	
	県への意見、要望等（自由記載）		

●：同様または類似の設問あり

茨城県

男女共同参画に関する県民の意識と実態に関する調査

1 あなたご自身について

F 1 性別はどちらですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない、分からない |
|-------|-------|-----------------|

F 2 年齢(2024年4月1日現在)をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 10代 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70歳以上 |

F 3 あなたは結婚していますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|--------------|-------------|-------|
| 1. 既婚(配偶者あり) | 2. 既婚(離・死別) | 3. 未婚 |
|--------------|-------------|-------|

F 4 あなたのお子さんの状況をお答えください。

お子さんが複数人いる場合は、一番下のお子さんについてお答えください。

(ひとつだけ○)

- | | | |
|------------|--------------------|--------|
| 1. 小学校入学以前 | 2. 小学生 | 3. 中学生 |
| 4. 高校生 | 5. 専門学校、短大、大学、大学院生 | |
| 6. その他() | | |
| 7. 子どもはいない | | |

F 5 あなたのご家族に、現在介護を必要とする方はいますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 1. いる(同居) | 2. いる(別居) | 3. いない |
|-----------|-----------|--------|

F 6 現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 1人世帯 | 2. 夫婦のみの世帯 |
| 3. 親と子からなる世帯 | 4. 親と子と孫からなる世帯 |
| 5. その他の世帯() | |

F 7 あなたが現在お住まいの市町村を○印で囲んでください。(ひとつだけ○)

地域	市町村（番号に○）			
県北地域	1. 日立市 5. 常陸大宮市	2. 常陸太田市 6. 大子町	3. 高萩市	4. 北茨城市
県央地域	7. 水戸市 10. 那珂市 13. 大洗町	8. 笠間市 11. 小美玉市 14. 城里町	9. ひたちなか市 12. 茨城町 15. 東海村	
鹿行地域	16. 鹿嶋市 20. 鉾田市	17. 潮来市	18. 神栖市	19. 行方市
県南地域	21. 土浦市 25. 牛久市 29. かすみがうら市 32. 阿見町	22. 石岡市 26. つくば市 30. つくばみらい市 33. 河内町	23. 龍ヶ崎市 27. 守谷市 34. 利根町	24. 取手市 28. 稲敷市 31. 美浦村
県西地域	35. 古河市 39. 筑西市 43. 五霞町	36. 結城市 40. 坂東市 44. 境町	37. 下妻市 41. 桜川市	38. 常総市 42. 八千代町



2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の状況について、「理想」はどうあるべきだと思いますか。また、「現実」はどうですか。（それぞれ○はひとつずつ）

用語の
意味

- ・「仕事」…自営業主（農林漁業を含む）、家族従業、雇用者として週1時間以上働いていること。正社員、パートなどを問いません。
- ・「家庭生活」…家族と過ごすこと、家事、育児、介護・看護など。
- ・「地域・個人の生活」…地域活動（ボランティア活動、交際・つきあいなど）、学習・研究（学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど。

理 想	1. <u>「仕事」に専念したい</u> 2. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」にも携わりつつ、 <u>「仕事」を優先したい</u> 3. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」と「仕事」を <u>両立したい</u> 4. 「仕事」にも携わりつつ、 <u>「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先したい</u> 5. <u>「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念したい</u> 6. よくわからない
現 実	1. <u>「仕事」に専念している</u> 2. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」にも携わりつつ、 <u>「仕事」を優先している</u> 3. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」と「仕事」を <u>両立している</u> 4. 「仕事」にも携わりつつ、 <u>「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先している</u> 5. <u>「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念している</u> 6. よくわからない

問2 「男性は仕事、女性は家庭」という考えがありますが、あなたはこの考えに同感しますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 同感する | 2. どちらかといえば同感する |
| 3. どちらかといえば同感しない | 4. 同感しない |
| 5. わからない | |

問3 一般的に、女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(ひとつだけ○)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. その他(具体的に: _____)
7. わからない

問4 あなたが問3でそう考えた理由は何ですか。(○はいくつでも)

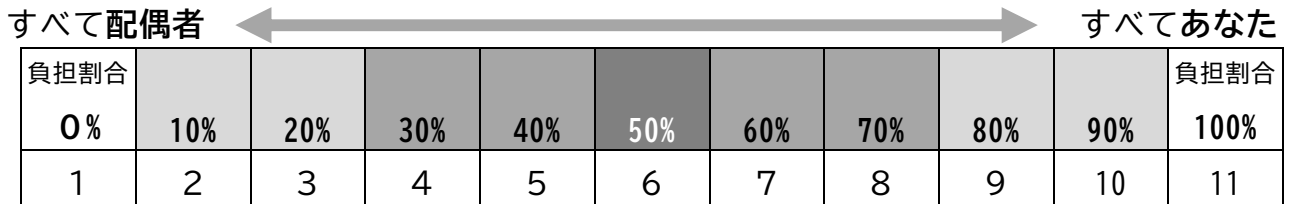
1. 女性も働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとっていいと思うから
2. 女性も経済力を持った方がいいと思うから
3. 夫婦で働いた方が家庭の収入が増えるから
4. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がいいと思うから
5. 子どもは母親が家で面倒を見た方が子どもの成長などにとっていいと思うから
6. 保育料などを払うより、母親が家で子どもの面倒を見た方が合理的だと思うから
7. 仕事と家庭の両立は大変そうだと思うから
8. 女性は家庭を守るべきだと思うから
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない
11. わからない

問5 あなたは、男性が家事・育児・介護を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。(○はいくつでも)

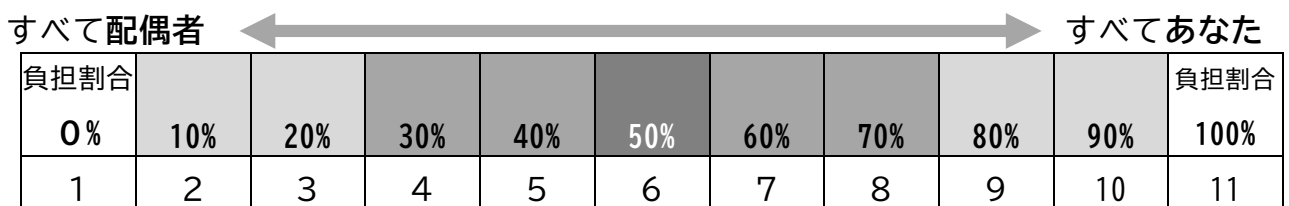
1. 男性も家事・育児・介護を行うことは当然である
2. 家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で仕事もできる
3. 男性自身も充実感が得られる
4. 子どもにいい影響を与える
5. 職場にいい影響を与える
6. 仕事と両立させることは現実として難しい
7. 家事・育児・介護は女性の方が向いている
8. 妻が家事・育児・介護をしていないと誤解される
9. 周囲から冷たい目で見られる
10. 男性は、家事・育児・介護を行うべきではない
11. その他(具体的に: _____)
12. 特にない
13. わからない

問6 あなたは、夫婦の家事分担割合について、「理想」はどうあるべきだと思いますか。
 また、あなたの家庭では「現実」にはどうですか。
 (例) すべてあなたの場合：100%、すべて配偶者の場合：0%

【理想】(ひとつだけ○)



【現実 ※「現実」については、配偶者のいる方のみお答えください。】(ひとつだけ○)



問7 男性が女性とともに家事、育児、介護に積極的に参加していくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 夫婦間での家事等の分担についての話し合い・協力
2. 男女の固定的な役割分担意識の解消
3. 男性の家事・育児・介護参加に対する男性自身の抵抗感の解消
4. 男性の家事・育児・介護参加に対する女性の抵抗感の解消
5. 男性の仕事中心の考え方に対する改革
6. 男性の家事や育児を行うための仲間作り
7. 男性の家事、育児、介護に対する関心を高めるための普及啓発・情報提供
8. 家事、育児、介護に必要な知識を学ぶ機会の充実
9. 労働時間短縮や休暇制度の普及
10. 職場や上司の理解・協力
11. テレワークなど、柔軟な働き方の整備
12. 育児や介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価制度
13. 育児・介護休業時の経済的補償の充実
14. 保育・介護の施設やサービスの充実
15. その他(具体的に：)

【参考】共働き世帯が1日の中で費やす時間
 ○育児や介護、家事など※：男性53分、女性4時間18分
 ※家事、介護・看護、育児、買い物の合計時間
 ○仕事：男性6時間54分、女性4時間16分
 「令和3年社会生活基本調査結果(総務省)」より

3 就業について①

問8 職場における以下の項目について、一般的には男性と女性のどちらが優遇されていると思いますか。(それぞれ○はひとつずつ)

	男性の方が 優遇されている	女性の方が 優遇されている	平等	わからない
ア) 採用時の条件	1	2	3	4
イ) 賃金、昇進、昇格	1	2	3	4
ウ) 能力の評価	1	2	3	4
エ) 研修の機会や内容	1	2	3	4
オ) 年次休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4
カ) 育児・介護休暇の取得のしやすさ	1	2	3	4
キ) 結婚や子の誕生後の就業継続	1	2	3	4
ク) 経験を積むための転勤や異動	1	2	3	4

問9 あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。(ひとつだけ○)

1. ある

2. ない

【問9で、「1. ある」とお答えいただいた方にうかがいます。】

問9-1 あなたが仕事を辞めた際の主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 健康上の理由 | 2. 勤め先の人間関係 |
| 3. 家事や育児に専念したかった | 4. 結婚(自主的) |
| 5. 家事や育児との両立困難 | 6. 勤め先の結婚・出産退職の慣行 |
| 7. 高齢者や病人の介護 | 8. 自身の転勤 |
| 9. 配偶者の転勤 | 10. 経済的に働く必要がなくなった |
| 11. 家族の反対や無理解 | |
| 12. 賃金や待遇等で勤め先や仕事の内容に不満があった | |
| 13. その他(具体的に: _____) | |

問 10 あなたは、女性が出産後も退職せずに働き続けるためには、どのようなことが重要だと思いますか。重要だと思うこと、そのうち最も重要だと思うことをお答えください。

※この設問は縦方向にお答えください	重要だと思うこと (○はいくつでも)	うち最も重要だと思うこと (ひとつだけ○)
子どもを預けられる環境の整備	1	1
家事・育児・介護支援サービスの充実	2	2
配偶者以外の家族の家事・育児・介護などへの参加	3	3
男性と女性の公平な家事・育児・介護の分担	4	4
女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革	5	5
働き続けることへの女性自身の意識改革	6	6
男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革	7	7
職場における育児・介護との両立支援制度の充実	8	8
短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	9	9
育児や介護による仕事への制約を理由とした不利益な取り扱いの禁止	10	10
その他（具体的に：)	11	11
特にない	12	12
わからない	13	13

4 就業について②

問 11 あなたの主な職業はどのような内容ですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 農林漁業（自営業主） | 2. 農林漁業（家族従業者） |
| 3. 商工・サービス業（自営業主） | 4. 商工・サービス業（家族従業者） |
| 5. 自由業（自営業主） | 6. 自由業（家族従業者） |
| 7. 被雇用者（専門・技術職） | 8. 被雇用者（事務職） |
| 9. 被雇用者（労務職） | 10. 専業主婦・主夫 |
| 11. 学生 | 12. 無職 |
| 13. その他（経営者・役員等） | |

⇒「7」～「9」以外をお答えの方は 10 ページの問 12 へお進みください。

【問11で、あなたの職業が「7」～「9」（被雇用者）とお答えいただいた方にうかがいます。】

→問 11-1 あなたのおつとめ先の従業員規模はどのくらいですか。

(ひとつだけ○、本社・支社を含む、公務員の方は「官公営」を選択してください。)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 1～9人 | 2. 10～29人 | 3. 30～99人 |
| 4. 100～299人 | 5. 300～999人 | 6. 1,000人以上 |
| 7. 官公営 | | |

→問 11-2 主な職業の就労形態について当てはまるものを次の中からお答えください。
(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 正社員・正職員（フルタイム） | 2. 正社員・正職員（短時間*） |
| 3. 契約・派遣職員（フルタイム） | 4. 契約・派遣職員（短時間*） |
| 5. パート・アルバイト等 | |

*短時間：子育てや介護などを理由に、1日の勤務時間を通常よりも短縮した働き方

【問 11-2 で、「3」～「5」（契約・派遣職員、パート・アルバイト等）とお答え
いただいた方にうかがいます。】

→問 11-2-1 その就労形態についた理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 専門的な知識や経験をいかせるため |
| 2. 自営の知識や経験がなかったため |
| 3. 正規の職員・従業員の仕事がなかったため |
| 4. 家事・育児・介護等と両立しやすいため |
| 5. 自分の都合のよい時間に働きたかったため |
| 6. 正規の職員・従業員だと残業や休日出勤や夜勤があるため |
| 7. その他（具体的に： _____) |

【問 11 で、あなたの職業が「7」～「9」（被雇用者）とお答えいただいた方
うかがいます。】

問 11-3 あなたの役職は何ですか。（ひとつだけ○）

1. 役員、管理職	2. 非管理職
-----------	---------

10 ページの問 11-3-3 へ

【問 11-3 で「2. 非管理職」とお答えいただいた方うかがいます。】

問 11-3-1 あなたご自身は、これから先、どの役職まで目指したいと考えて
いますか。あなたが目指したい最も高い役職をお答えください。
（ひとつだけ○）

1. 非管理職のままでよい	2. 管理職（課長・部長相当）	3. 役員以上
---------------	-----------------	---------

10 ページの問 12 へ

【問 11-3-1 で、「1. 非管理職のままでよい」とお答えいただいた方
うかがいます。】

問 11-3-2 管理職・役員を目指さない理由として当てはまるものを
次の中からお答えください。（○はいくつでも）

1. 責任が増えるため
2. 残業が増えるため
3. 都合に合わせて休みがとりづらくなるため
4. 家庭（プライベート）との両立が難しいため
5. 能力や経験が不足していると思うため
6. 管理職に興味ややりがいを感じないため
7. 会社に目指したい同性の管理職がないため
8. 残業代がつかない・報酬が業務量や責任の重さに見合わないため
9. 管理職になれない雇用区分であるため
10. 短時間勤務を希望しているため
11. 転勤があるため
12. 職場の同僚からねたまれたり、批判を受けるのが嫌であるため
13. その他（具体的に： _____ ）
14. 今の働き方や職務内容に満足しているため
15. 特にない

【問 11-3 で、「1. 役員、管理職」とお答えいただいた方にうかがいます。】

問 11-3-3 次の中で、あなたご自身が、管理職になって良かったと感じることをすべてお答えください。(〇はいくつでも)

1. マネジメントに充実感がある
2. 責任・権限のある仕事ができる
3. 自分の裁量で仕事ができる
4. 敬意を払われる
5. 収入が増える
6. 経営方針など重要な決定に関われる
7. 人脈が広がる
8. 自分自身の知見やスキルが広がる
9. 仕事のモチベーションが上がる
10. その他（具体的に： _____)
11. 特にない

【配偶者がいる方にうかがいます。それ以外の方は問 13 へお進みください。】

問 12 あなたの配偶者の主な職業はどのような内容ですか。(ひとつだけ〇)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 農林漁業（自営業主） | 2. 農林漁業（家族従業者） |
| 3. 商工・サービス業（自営業主） | 4. 商工・サービス業（家族従業者） |
| 5. 自由業（自営業主） | 6. 自由業（家族従業者） |
| 7. 被雇用者（専門・技術職） | 8. 被雇用者（事務職） |
| 9. 被雇用者（労務職） | 10. 専業主婦・主夫 |
| 11. 学生 | 12. 無職 |
| 13. その他（経営者・役員等） | |

【問 12 で、配偶者の職業が「7」～「9」（被雇用者）とお答えいただいた方にうかがいます。】

問 12-1 配偶者の主な職業の就労形態について当てはまるものを次の中からお答えください。(ひとつだけ〇)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 正社員・正職員（フルタイム） | 2. 正社員・正職員（短時間*） |
| 3. 契約・派遣職員（フルタイム） | 4. 契約・派遣職員（短時間*） |
| 5. パート・アルバイト等 | |

*短時間：子育てや介護などを理由に、1日の勤務時間を通常よりも短縮した働き方

【すべての方にうかがいます。】

問 13 どのような制度や支援があれば、女性の管理職が増えると思いますか。子育て中の女性に限らず、女性全体を想定して、重要だと思うことをお答えください。

(〇はいくつでも)

1. テレワークなど働く場所の制約の軽減
2. フレックスタイムなど働く時間の制約の軽減
3. 男性も含めた長時間労働削減や、休暇取得促進への取組
4. 管理職登用における女性に不利な評価基準・運用等の見直し
5. 女性管理職比率の数値目標の設定
6. 経営層による積極的な女性活躍の推進
7. 女性が活躍しやすい部門への女性の配属
8. ラインマネジャー以外の管理職相当の高度専門職の設定
9. コース別雇用管理の見直し（採用時の雇用管理区分にとられない活躍の促進）
10. 女性をつなぐ社内ネットワークの充実
11. 意欲や能力の高い女性を早い段階で幹部候補として選抜
12. 活躍している女性のロールモデルの提示などキャリア意識の醸成・研修の実施
13. 管理職を対象とした女性部下の育成に関する研修の実施
14. 育休復職者に対する個別の事情に配慮した配属
15. 産休・育休の間のスキル向上や育休後の意欲向上研修の実施
16. その他（具体的に： _____)
17. 特にない

5 地域活動について

問 14 以下の地域活動の中で、あなたが「現在参加している活動」と「今後参加してみたい活動」について教えてください。

※現在参加している活動で、「リーダー」として活動しているものについては、番号を記入してください。

※この設問は縦方向にお答えください	現在参加している活動 (○はいくつでも)	今後参加したい活動 (○はいくつでも)
地域の活性化などまちづくり関係	1	1
自然環境保護関係	2	2
男女共同参画関係	3	3
子育て・子どもの健全育成関係	4	4
医療や社会福祉関係	5	5
スポーツ、教養・学習・文化関係	6	6
防犯・防災関係	7	7
NPO やボランティアなど市民活動関係	8	8
保育園・学校等の保護者会・PTA 関係	9	9
町内会・自治会、青年団・婦人会・老人クラブ関係	10	10
その他（具体的に： _____）	11	11
特にない	12	12

<p>現在参加している活動で、「リーダー」として活動しているものについて、番号を記入してください。 (複数回答可)</p>	
---	--

問 15 あなたは、女性が地域活動（前問の問 14 の表に記載のあるような活動）のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感の解消 |
| 2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感の解消 |
| 3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについての評価向上 |
| 4. 女性が地域活動のリーダーになることについての啓発や情報提供・研修の実施 |
| 5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組促進 |
| 6. 職場の配慮（シフト編成や休暇取得など） |
| 7. その他（具体的に： _____) |

6 男女共同参画社会について

問 16 次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ〇はひとつずつ）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
ア) 社会全体	1	2	3	4	5	6
イ) 家庭生活(家事・育児など)	1	2	3	4	5	6
ウ) 職場	1	2	3	4	5	6
エ) 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
オ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
カ) 地域活動（町内会・NPO など）	1	2	3	4	5	6
キ) 社会通念、慣習、しきたりなど	1	2	3	4	5	6
ク) 法律や制度	1	2	3	4	5	6

問17 「男女共同参画社会」とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。

男女共同参画社会を実現するためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 関係する制度の制定や見直し
2. 職場や地域等における女性に不利な慣習の見直しに向けた働きかけ
3. 男女共同参画についての意識啓発・情報提供、広報活動の充実
4. 男女平等や相互理解、協力に関する学習機会の提供
5. 子どものころからの男女共同参画教育
6. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女が共に働きやすい就業環境の整備
7. 保育や介護サービスの充実など仕事と家庭生活の両立支援
8. 地方公共団体の審議会や管理職など政策や方針決定過程への女性の積極的起用
9. 企業における女性管理職の積極的な登用にに向けた支援
10. 地域や団地で活躍できる女性リーダーの養成
11. 女性の再就職や起業を支援する相談や情報提供など施策の充実
12. 配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・救援体制の充実
13. 農林漁業・商工・サービス業の家族従事者の地位の向上
14. 大学など関係機関と連携した調査研究の実施
15. 女性が少ない分野（研究者、理系、土木等）への女性の進出支援
16. その他（具体的に： _____)

◇最後に、男女共同参画や女性活躍などについて普段感じていること、県へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。

これですべての調査は終了です。ご協力ありがとうございました。